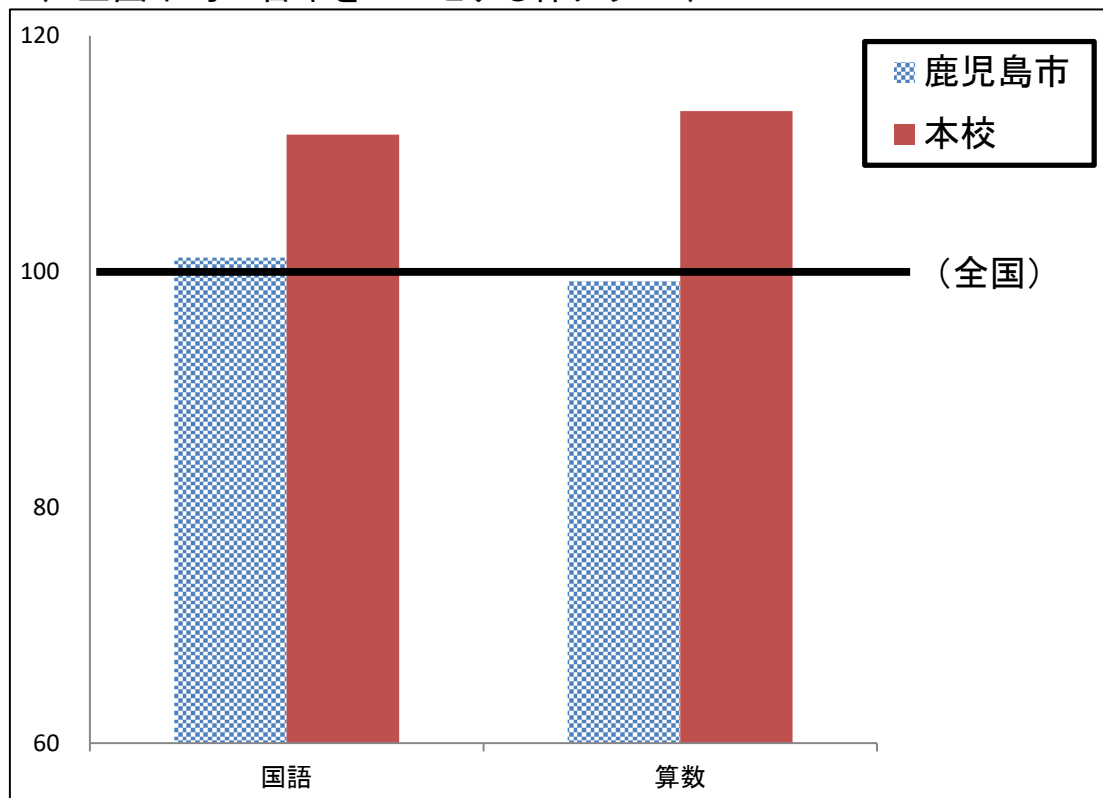


# 令和5年度全国学力・学習状況調査結果について 桜洲小学校

## 1 自校・市・全国の平均正答率の比較 〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



## 2 自校の課題に対する改善策

### 〈国語〉

情報と情報とを関係付けることや図や資料などから情報を整理することに課題が見られました。多くの問題文や資料にどのようなことが書かれているのか内容を整理する際に、キーワードを見付け出し、そのキーワードの前後の文章を関連付けて整理していきけるように指導していきたいと思います。また、新聞を活用し、記事の内容を短くまとめたり、記事に対しての自分の考えを文章化したりする活動を取り入れていきたいと思います。

### 〈算数〉

三角形の意味や性質、単位量あたりの大きさにおいて、示された基準量と比較して、割合の大きさを求めることに課題が見られました。正三角形、二等辺三角形、直角三角形がそれぞれ折り重なったときの接地面の角の大きさを求める際に、どこの角がどのように折り重なっているかイメージできるように具体物を活用しながら指導していきたいと思います。また、単位量あたりの大きさでは、百分率や歩合で表す際に、基準量と比べて比較量はどのような量になるのか、資料などを使って視覚化を図っていきたいと思います。

### 〈全体的に〉

児童質問紙の結果から、多くの解答に対して肯定的に評価をつけている児童が多いことが分かりました。昨年度の学校楽しーとの「自己肯定感」に関する項目と比較して、自分の良さを認めることができるようになり、自信をもって日々を過ごすことができているのではないかと思います。学習面では、読書の時間が少なく、新聞も読まないと答える児童が多いことが分かりました。読解力を向上させるためにも、より多くの文字と触れ合う時間を設定していくことが必要です。まずは、短い時間でも良いので、落ち着いて読書をする時間を学校と家庭で設定していけたらと思います。絵本ではなく、国語の授業の内容とリンクさせながら、並行して読書をしていくことで、目的意識をもって取り組んでいけるのではないかと思います。